

中津川市総合計画審議会
第3回防災・環境部会要旨

平成25年10月15日(火)
午後6時55分 開 会

部会長あいさつ

1. 行政からの提出資料の審議

(丸山充信部会長) まず、①について事務局から説明願います。

～事務局 資料説明～

(丸山充信部会長) 続いて、②について説明願います。

～事務局 資料説明～

(丸山充信部会長) 24年度評価はこの中に反映されているのか。

(木村企画財務課長) 反映されています。

(丸山充信部会長) 各委員からの所見表明も入っているのか。

(木村企画財務課長) 入っていません。

(丸山充信部会長) 資料を見比べながらどうするか審議したい。

災害対策で意見をお願いします。

消防団の必要性の低下と小倉委員は書いているが、消防団の消火活動が少なくなったということはあるか。

(小倉委員) 昔は消防団の火災の出動も多く、市民にある程度評価されていたが、今はどちらかというとそれが薄くなっている。今は火災よりも捜索などに駆り出されることが多く、本当の業務でないようなところある。

消防団が地域であまり評価されていないという意味で書いた。今、区長さんをお願いしてもなかなか消防団員を募集できない。自分たちで行ってつてで探してくるほうが入団が多い。区長さんに一生懸命お願いしてもなかなか難しいのが現状。

(丸山充信部会長) 民生委員から出てきたのが、いつ発生してもおかしくない大規模災害で、課題に災害時要援護者台帳登録者数が増えないとあるが、何か原因があるのか。

(小倉委員) 本人の同意がなければ登録してないみたいで、その辺は民生委員などは把握していると思うが、消防団には本人が同意したものしか来ていない。

(丸山充信部会長) 個々にやると大変なので、課題だけ反復します。

～資料読み上げ～

(丸山充信部会長) 何かあれば。

(栗谷本副部会長) 項目を追っていくとなかなか審議が進展しないので、的を絞るとするか、担当のペアがいるので、担当の方に話をしてもらいながら。

(丸山部会長) 各委員からの所見表明の取りまとめに、行政の考えたことはほぼ入っているので、まず問題ないだろうと思う。ただ、この中にグループインタビューが入っ

ていないが、グループインタビューはいつぐらいに出るのか。

(木村企画財務課長) グループインタビューは10月の末まで実施期間なので、今回参考で中間報告を配布しています。

(丸山充信部会長) 取り組み方針を審議したいが、どのように進めるか。

(波多野委員) グループの分け方が大雑把なので、これを全部網羅できるかどうか問題があると思う。

(丸山充信部会長) 柱とか大分類をここに反映させて作ったのか。

(木村企画財務課長) 柱などは今の総合計画のものなので、一切反映させていません。担当される項目に分けて作ってあります。

(加藤雄一郎委員) ここで何をどう決めていくか、ある程度絞っていかないと難しいと思う。各担当の部署の方の説明をもとに、実際、今やっている総合計画と次年度はこう変えていこうという説明をしてもらったうえで、それについて意見や問題提起の掘り起しをした方が良いと思う。今日の段階としては、自分の所属団体とリンクしているものと比較して、意見等や問題提起ができたらと思う。

(曾我委員) 特に災害・防災の部分は、これから非常に力を入れて行かないといけないし、南海トラフ地震が起きると、この地域もいろんな災害を被ると思う。それに備えた災害対策を確立しておく必要がある気がして、想定外という言葉は当てはまらない状況にしておくのが一番理想だと思う。

今やるべきことをしっかりやっていくものでないといけないと感じる部分が多い。特に中津川市はその部分が一番遅れている感じがする。岐阜や飛騨などで自治連絡協議会があるが、話を聞くとやっぱり中津川市は遅れている。いろんな部分で遅れていると感じる。先送り先送りで来たのが一番いけないこと。そのつげが今まさに回ってきている。

やり方だが、グループ分けしてあるので、その部分である程度進めていかないと、この部会が進んでいかないような気がする。出来た部分をみんなで合わせた方が良い気がする。

(小倉委員) 進め方は難しいと思うが、せっかくグループ分けしているので、その方法でやったほうがいい。

(丸山充信部会長) 防災・環境部会が担当する課題が全部出てきているので、各グループでもう一度読み合わせて確認し、グループインタビューで出てきた課題を当てはめていく方法になると思うがどうか。

(栗谷本副部会長) 今日は第3回だが、ここで最終的に決めるような乱暴なことはできない。今日の資料を熟読して、自分達が提案したものを参考にしながら将来都市像を考えていったらどうか。多分これだけでは足りないと思う。中津川の将来都市像に行きつけるような、例えば、一つの項目の中で優先順位を3つくらいに絞って、その分野にあることを網羅して、ここに反映して将来都市像に結び付けていくやり方でどうか。

各所属団体の考える将来都市像は、自分たちのグループや地域などを代表して作ったものなので、こういう参考的なものが出てくると抜けていたところがあ

と思う。それを総合しながら各担当の分野で、もう少し絞り込んで、それを次回の部会やってはどうか。

(丸山充信部会長) 課題解決のための取り組みはほとんど入っているので、もう一度それぞれの分野で最終確認をしてもらって進めていってはどうかと思うが。

(栗谷本副部会長) 第3回と第4回の間が空くと、問題意識に対してのテンションが下がるので、4回目を少し早めにやってほしい。

資料の比較をしてまとめたものを、もう一回事務局へ送って、もう一回これを補充するという作業をすると一番いいと思うが。

(丸山充信部会長) 今日個々に全部やったら時間が足りないので、もう一度グループごとでお願いします。もう一度自分たちの分野で、これで本当にいいのか、まだ加えるものがあるのか、取り組み方針をもう一度確認してもらいたい。

(栗谷本副部会長) 熟読して事務局にいつまでに送るという計画を作らないといけない。

(丸山充信部会長) 21日までに出示してもらって、28日に部会を開きたい。

(大西委員) 提出期限は22日でお願いしたい。

～次回の開催日は、10月28日(月)19時から開催と決定する～

(丸山充信部会長) グループでのまとめを22日までに出すことで良いか。

(栗谷本副部会長) 事務局は28日の会議に間に合うか。

(木村企画財務課長) 所信表明ごとにまとめるのかテーマごとにまとめるのか、様式は任せていただけるとありがたいです。

(大西委員) 21日ないし22日までに担当の箇所に関して将来都市像的なものを出すということで、将来都市像のどこまで踏み込んで、何か書き込めるようなものかを考えるということか。

現在の総合計画、第4次総合計画、第3次総合計画、あるいは恵那市、瑞浪市の総合計画は、いくつかの分野のキーワードやキャッチフレーズを各分野でまとめて、それをいくつかまとめて大きなキーワードする作業をしているようだが、その作業をするということか。

(丸山充信部会長) 防災・環境部会の担当する分野の将来都市像のキーワードなどを作らないと前に進んでいかないと思う。

(大西委員) キーワードの中に問題点と方向性を含んだような言葉を探してくるということか。

(丸山充信部会長) 言われるようなキーワードでまとめてほしい。そうすれば進んでいくと思う。第5回の部会である程度多く浮かんでくると思う。出示もらったキーワードを文章化して、次回に持ち込みたいと思う。

(栗谷本副部会長) 今まで配布されたものを参考にして自分たちの担当で出してほしい。

(丸山充信部会長) 確認するが、キーワードを持ち寄ってまとめていきたい。あわせて各グループで資料を確認して、各委員の所信表明を確認してほしい。これが出てきた暁に、この部会の将来像が見えてくると思う。

午後7時53分 閉 会

平成25年11月21日

防災環境部会 丸山 資 信